

東海経済レポート(2022年2月)

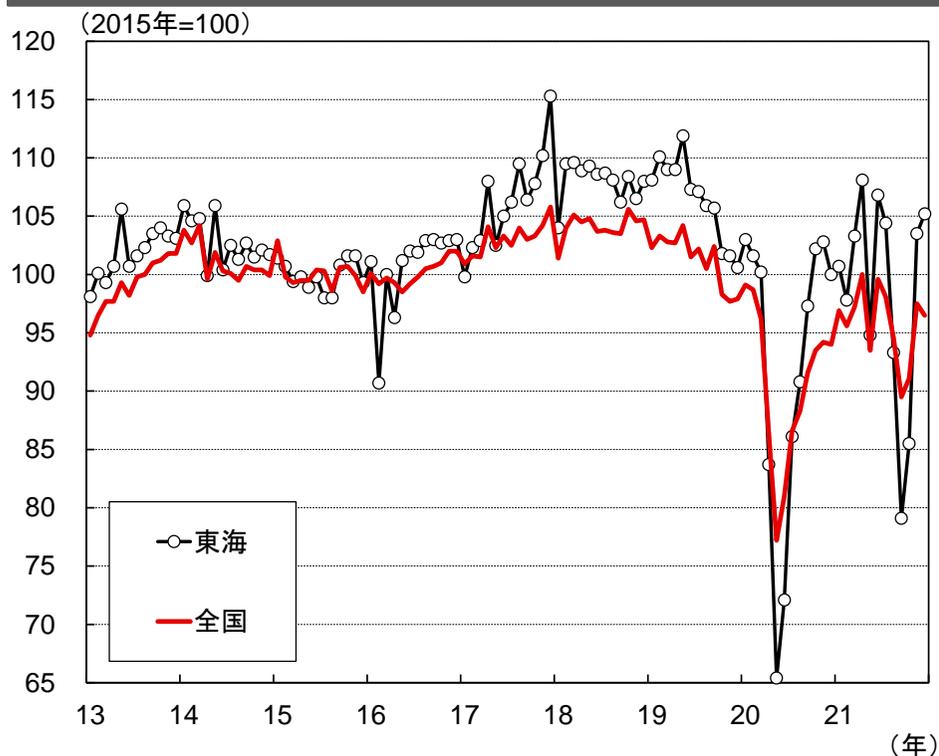
2022年2月22日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は持ち直し基調にあるが、足元は感染第6波の影響などにより下押し圧力が強い状態が続いている。
- 製造業は、感染拡大による工場の操業規模縮小や半導体などの部品不足が継続しており、供給面の制約が生産の重石となっている。また、飲食や運輸、宿泊などのサービス業については、まん延防止等重点措置が3月まで延長されており、人出の抑制や外出自粛の動きなどが下押し要因に。
- 昨年12月の鉱工業生産指数は前月比+1.6%と3カ月連続で上昇、水準は105.2とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を上回った。業種別にみると、電子部品・デバイスが同▲5.7%と低下した一方、輸送機械が同+3.2%、生産用機械が同+2.9%、電気機械が同+2.3%とそれぞれ上昇。

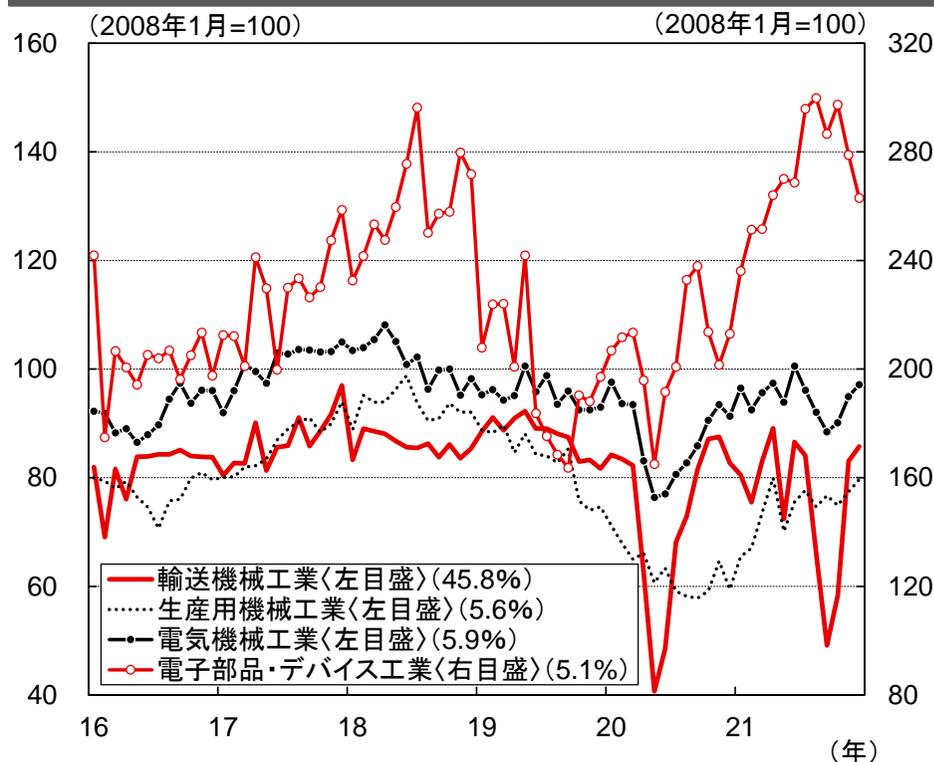
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準、中部経済産業局算出)。

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

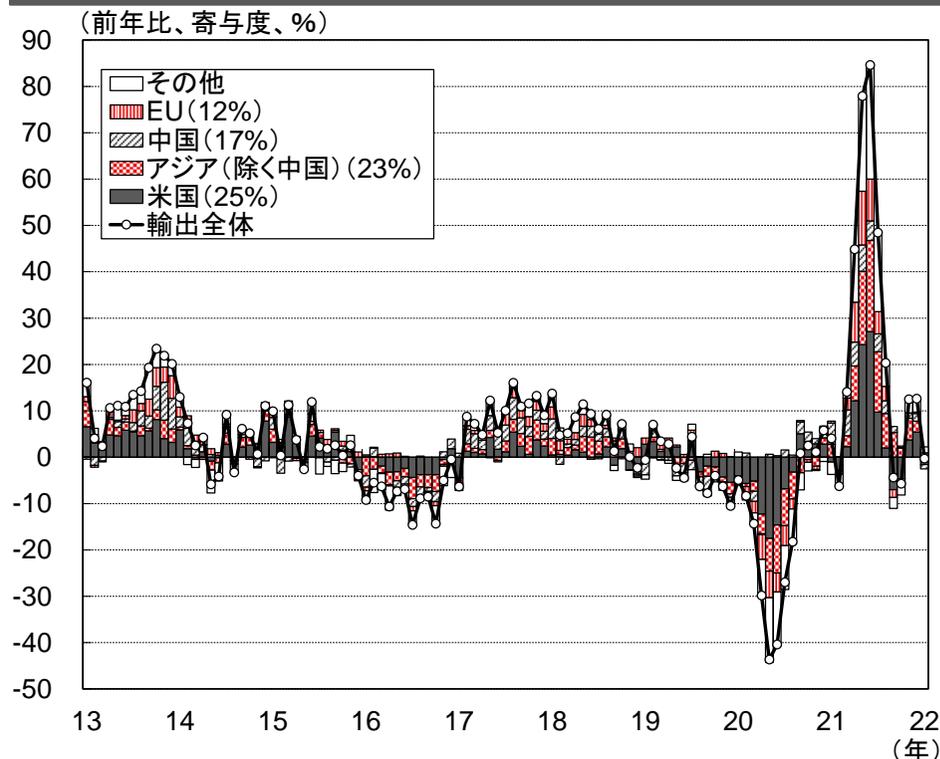
- 1月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、37.0(前月比▲22.1ポイント)と5か月ぶりに低下。愛知、岐阜、三重の3県は1月21日、静岡県は1月27日からまん延防止等重点措置が実施されるなど、新型コロナウイルスの感染再拡大が影響。
- 1月の輸出額(円ベース)は前年比▲0.3%と3か月ぶりに減少、金額は1.3兆円とコロナ禍前同月(1.3兆円)を僅かに上回った。地域別では、EU向け(同+5.2%)、アジア(除く中国)向け(同+1.0%)が増加した一方、米国向け(同▲6.5%)、中国向け(同▲5.7%)が減少。品目別では、工作機械(同+16.5%)、電気機器(同+8.5%)、一般機械(同+8.1%)が増加した一方、自動車(同▲10.2%)が減少した。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

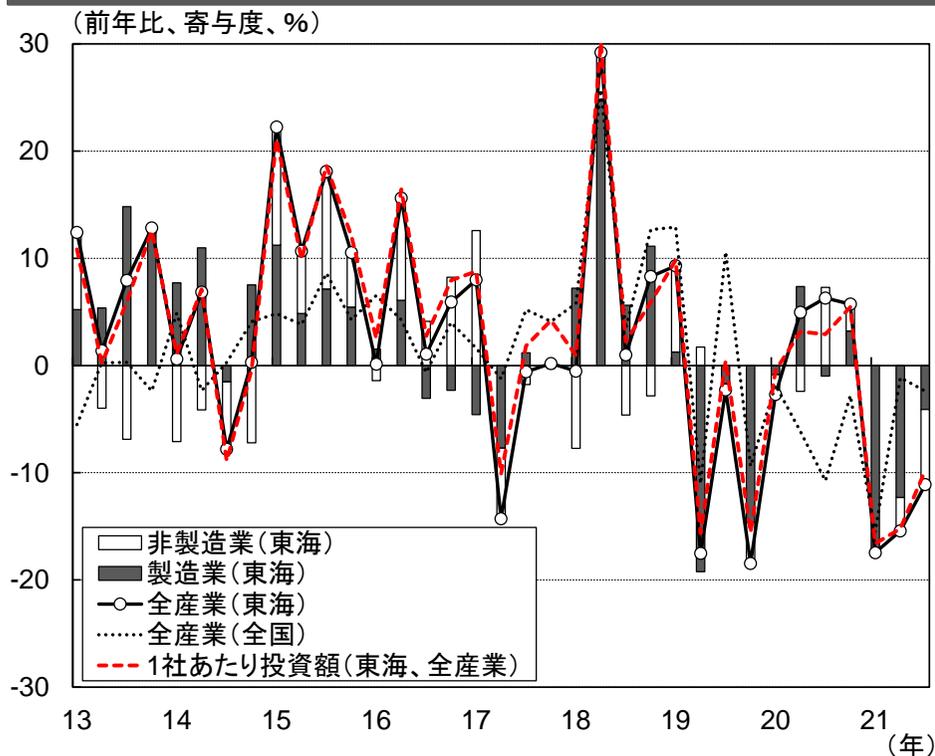


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2021年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

- 昨年7-9月期の大企業の設備投資は前年比▲11.1%と3四半期連続で減少。製造業は減少幅が縮小した一方、非製造業は減少幅が拡大。
- 1月の全国の工作機械受注額は前年比+61.4%の1,430億円と15ヵ月連続で増加。このうち、外需は同+58.7%と15ヵ月連続で増加、内需は同+68.0%と11ヵ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。

(資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額(全国)

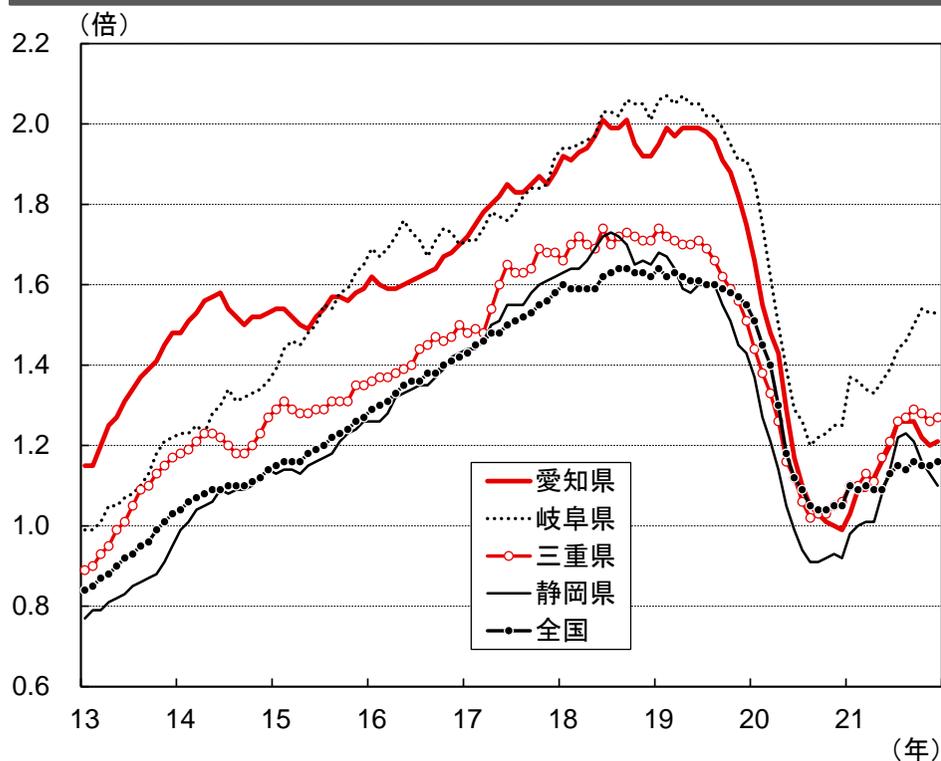


(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

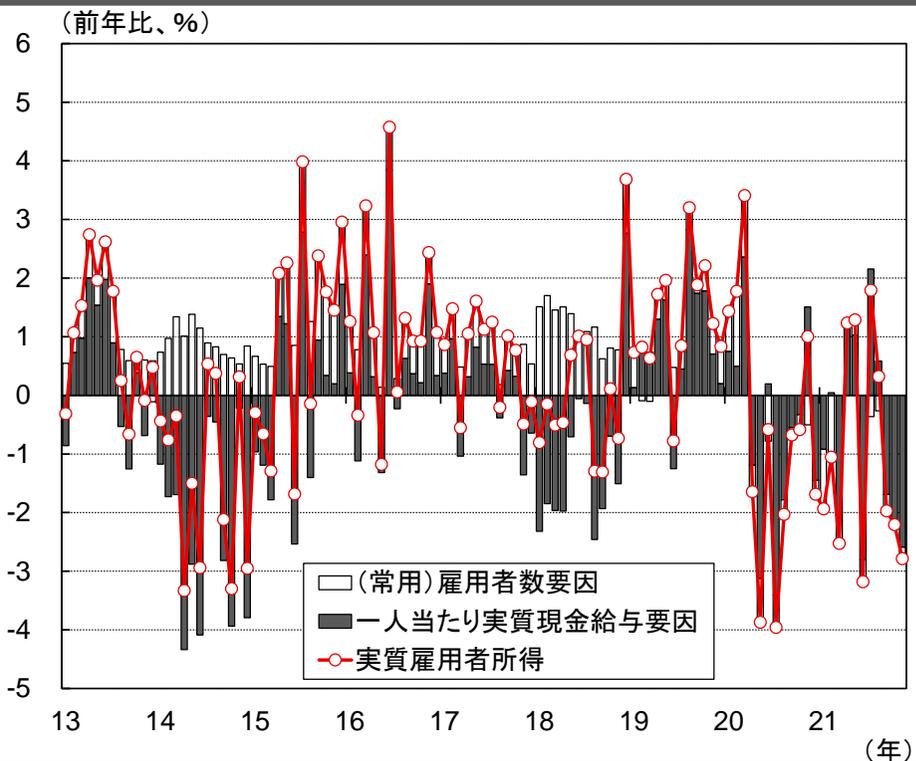
- 昨年12月の有効求人倍率は、愛知県と三重県は上昇、岐阜県は横這い、静岡県は低下。静岡県は2カ月連続で全国を下回った。
- 11月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比▲2.8%と3カ月連続で減少。一人当たり所得の減少が全体を押し下げ。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質雇用者所得(東海)

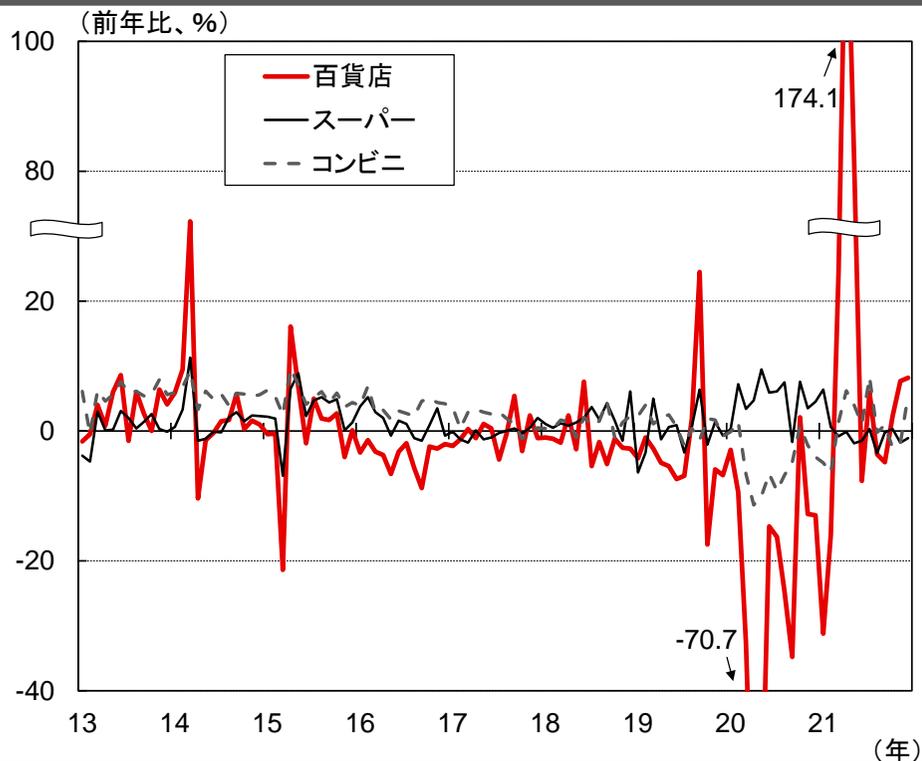


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
 (資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

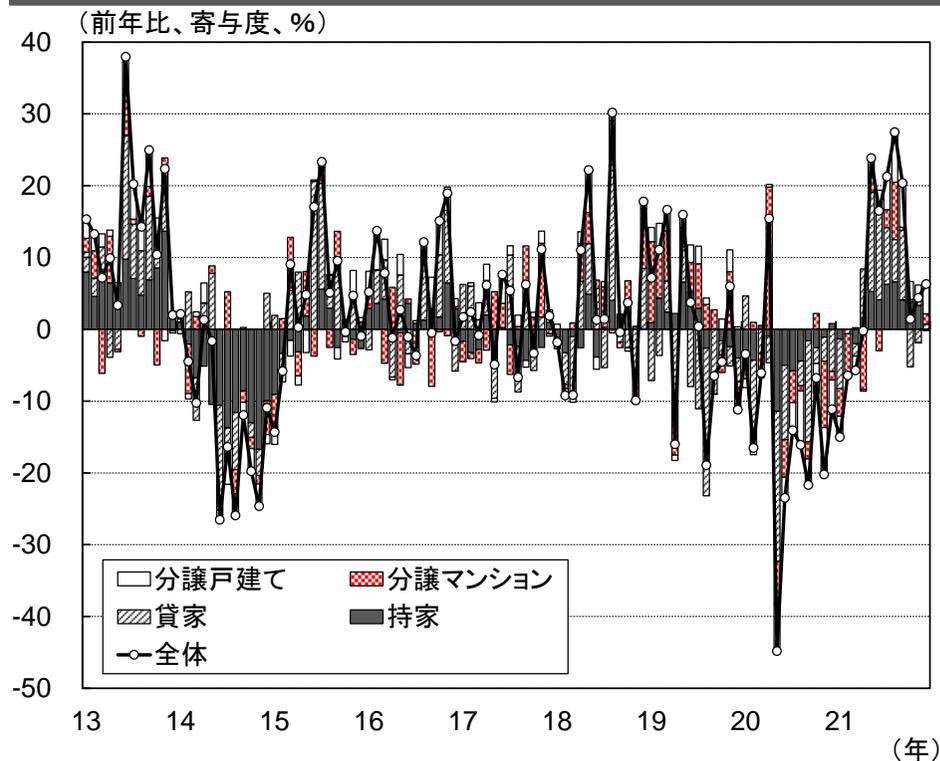
- 昨年12月の小売主要3業態の販売額は、百貨店は前年比+8.2%、コンビニは同+5.5%と増加した一方、スーパーは同▲1.1%と僅かに減少。金額ではスーパー(1,788億円)とコンビニ(1,093億円)がコロナ禍前同月を上回った一方、百貨店(563億円)はコロナ禍前同月の9割程度。
- 12月の新設住宅着工戸数は年率7.7万戸、前年比+6.3%と8カ月連続で増加。用途別では、持家(同▲0.4%)が減少した一方、分譲マンション(同+24.8%)、分譲戸建て(同+24.8%)、貸家(同+1.9%)はそれぞれ増加。水準はコロナ禍前同月の9割程度。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

- 原油価格はウクライナ情勢を巡る懸念から1バレル90ドル台半ばまで上昇。ロシアによる軍事侵攻の懸念が払拭されるまでは高止まりが予想される。
- ドル円相場は1ドル115円前後で推移。米国の利上げ見通しの強まりからドル買いが意識され易い地合いが続くも、リスク回避的な円買いが下押し圧力に。
- 日経平均株価は、米国の利上げ加速への警戒やウクライナ情勢への懸念から下落基調にあり、足元は2万6千円台で推移。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp